

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報						
組織名・所属		株式会社 TAISHI				
役職		代表取締役				
氏名		菅野 剛	ふりがな	かんの たけし	生年月日	1971年10月16日
連絡先住所		〒060-0061	札幌市中央区南1条西7丁目12-6			
電話番号		011-221-0033	メールアドレス	kanno■taishi-hkd.jp (■を@に変えて下さい)		
2. 経歴・取組内容、取組分野等						
主な経歴・受賞歴	<経歴> ◆1995年より5年間台湾在住。日系商社にて日本向け貿易業務から大広台湾ランチを経て、JTBグループの広告会社へ入社。帰国後、北海道にてJTBグループ広告会社勤務。 ◆2004年よりJTB北海道営業本部を経て、2006年4月の分社後、JTB北海道・市場開発室プロジェクトディレクターに就任。 ◆2010年4月より大志プロジェクト株式会社の取締役経営戦略室長に就任。 ◆2011年10月株式会社TAISHI代表取締役として、食と観光による地域活性化事業を推進。 ◆総務省 地域力創造アドバイザー（地域人材ネット登録）					
	◆全国商工会連合会小規模事業者新事業全国展開支援事業専門家 ◆2009年度 「稚内～利礼航路オフシーズン利用促進業務」(北海道運輸局) ◆2009年度 「来道外国人観光客の満足度向上を支援する多言語自動音声翻訳技術の実証実験」(総務省) ◆2010年度 伊是名村商工会「フットパスルート開発事業業務」(伊是名村商工会) ◆2010年度 「接遇マニュアル編集委員会」委員(北海道) ◆2011年度 経済産業省「平成23年度中心市街地商業等活性化支援業務」派遣専門家 ◆2011年度 「魅力再発見！伊是名の面白ばなしの調査研究事業」(伊是名村商工会) ◆2011年度 「中心市街地商業等活性化支援業務」(経済産業省、(株)まちづくり稚内) ◆2012年度 「中心市街地活性化の取組に対する診断・助言等支援事業」(経済産業省、(株)檜山地域振興公社) ◆2012年度 「日本一のもち米を活用した観光ブランディング推進調査事業」(風連商工会) ◆2012年度 「沖縄県初・産業回遊型観光開発とコースマーケティング型特産品開発」(西原町商工会) ◆2013年度 「ロングトレイルを活用した観光プラットフォームモデル創出事業」(観光庁・中標津町) ◆2013年度 「開拓100年史から新たな歩みを考える・酪農文化の継承事業」(文化庁・中標津町) ◆2013年度 「道内空港を活用した道産品輸出等トライアル事業」(北海道) ◆2014年度 沖縄県初！闘牛文化リマスタープロジェクト事業(株)JTB総合研究所・うるま市商工会) ◆2014年度 「ロングトレイルを活用したプラットフォームモデル創出事業 (一社)なかしべつ観光協会を軸とした着地型旅行商品モデル創出に向けて」(観光庁・中標津町) ◆2014年度 「にぎわい！今金」コミュニティビジネス創出による地域力再生プロジェクト(今金町商工会) ◆2014年度 平成26年度フードチェーン食育活動推進事業ディレクション等委託業務(農林水産省・別海町)					
取組分野	☐	1	観光振興		7	住民参加・協働
		2	産業振興		8	イベント交流
		3	過疎地域・限界集落の振興		9	食品流通
		4	中心市街地活性化		10	環境
		5	まちづくり景観		11	NPO・ボランティア
	☐	6	農林水産品の開発・ブランド化		12	その他()

3. 関連ホームページ	
名称	アドレス
4. ふるさと財団での実績	
地域再生ジャー	◆2011年度 北海道名寄市「農商工連携型観光クラスター形成による地域再生プロジェクト」 ◆2012年度 北海道中標津市「エリアラッピング型・中標津町観光ブランド形成の可能性検討調査事業」 ◆2016年度 岩手県八幡平市「ICTを活用したウェブプロモーションによる観光地魅力訴求モデル構築事業」
地域再生講師	
環境整備型	
初期対応型	◆2011年度 北海道中標津市 ◆2014年度 秋田県能代市「地域資源を活用した地域再生」
5. 財団報告書	
名称	アドレス
平成23年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/3-H23-shinchiikisaiseiM-houkokusho.pdf
平成24年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/1-H24-shinchiiki-houkokusyo.pdf
平成26年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/H26jigyouhoukokusyo.pdf
6. 写真・ひとことPR	
	<ひとことPR> 現状、疲弊している地域や施設も、マーケットにおいて本来は経済的な自立をしていました。 時代の変化に対応する為にも、マーケットニーズの変化を的確に捉え、既存資源の可能性を推進主体である施設の構成員や地域行政及び事業者が実感し、自信を付けることが第一段階では、もっとも重要な要素として捉え事業に着手しています。